

翔

第37号 (令和3年9月1日)

山原昌娃学院長 七尾市文化賞受賞記念号

令和2年度 七尾市文化賞・産業賞贈呈式



全国きもの指導者協会
認証校

山原昌娃きもの着付学院

祝 山原昌娃きもの着付学院 学院長 「七尾市文化・産業賞」文化賞受賞

◆贈呈式 令和2年11月3日 午前10時～
田鶴浜地区コミュニティセンター大ホール

山原昌娃学院長が50年近く着付指導を通し、きもの文化を普及発展させた功績が評価されての受賞です。我々学院生一同の誇りであり喜びです。おめでとうございます。

令和2年度 七尾市文化賞・産業賞贈呈式



共に歩いて

師範会 久木満津美

婦人センターで、毎週勉強会。又講師を招き着物以外の話・舞台・時代衣装等の勉強もしました。

当時の山原先生はとても厳しく、教室では一人一人説明の仕方、先生の教本通りの指導でした。でも終わった帰りは『寄り道しよう』。誰もいやと云う人はいなく、焼肉と一杯がとてもおいしかったことが思い出されます。笑って笑って先生の顔もゆるみっぱなし。

先生は発想と実行力があり、先を見るのが上手と云うか……。こうして共に歩いた五〇年の結果が「七尾市文化産業賞」の文化賞受賞されたことは私達生徒としても誇りに思います。本当におめでとうございます。



花束を贈呈しました

令和2年度 七尾市文化賞



贈呈式に参列して

田鶴浜教室 藤澤 久江

地元の「コミュニティセンター日和ヶ丘」にて、文化賞の贈呈式が行われました。学院長は壇上で凛とし、しかも奥床しさ、やさしさを兼ねそなえ、そのお姿を拝見致し、胸が躍り、目頭が熱くなりました。この感動はどこから…。



山原学院長の事績には、日本伝統文化の継承と着物を考えるきっかけ作りとして、平成4年開催の国民文化祭、七尾会場で「紫式部」コーナーを担当したことや伝統文化子ども教室で子ども達とのふれあいを持ったことなど。また、花嫁のれん館の開館式・日本丸の寄港など数々の事業に学院生と共に参加。成人式や港まつりの着付けボランティアとして長年参加し、地元を愛し、地域活動にも積極的に取り組んでいる事等が記されています。

—七尾市の伝統文化の継承に貢献した功績を高く評価されました—

七尾市文化賞贈呈式に参加して

師範会 竹田 幸子

令和二年十一月三日、山原学院長の七尾文化賞贈呈式が、田鶴浜コミュニティセンターで行われました。コロナ禍ではありましたが、学院からは二十人程が、きもの姿で出席し先生と喜びを共にする事ができました。

県知事をはじめ、七尾市長、国会議員の方々の祝辞を聞きながら、壇上の先生を見つめる私達は、とても誇らしい気持ちでいっぱいになりました。

式後には、先生に花束を贈呈し、皆でにこやかに記念写真をとりました。

学院長には、健康に留意され、「きもの文化」の発展のために、ますますのご活躍をご祈念申し上げます。



山原先生の受賞を共にお祝いしたいと贈呈式に参加しました。

山原昌娃学院長 七尾市文化賞受賞記念祝賀会

令和二年十二月六日 於七尾市和倉温泉加賀屋

お言葉をいただいた方々



石川県議会議員
清水真一路 様



衆議院議員
近藤 和也 様



衆議院議員
西田 昭二 様



七尾市長
茶谷 義隆 様



七尾市文化協会 顧問
小田 禎彦 様



七尾市文化協会 会長
橋元 道彦 様



七尾商工会議所 会頭
大林 重治 様



武元 文平 様



七尾市教育長
黒崎 直人 様



七尾市議会議長
杉木 勉 様

山原学院長の名誉ある受賞を祝って、七尾市文化協会の顧問・会長・友人・学院の有志等が
発起人となり、祝賀会が計画されました。

コロナ感染が収束しない中、多方面の方々、金沢など遠方の方々も出席される会。万全の注
意と努力を払い、開催にいたしました。

120名の参加者ほとんどが和服姿で、文化賞の受賞にふさわしい華やかな会となりました。

式次第

開会挨拶	七尾市文化協会 顧問	小田 禎彦
来賓祝辞	七尾市長	茶谷 義隆様
	衆議院議員	西田 昭二様
	衆議院議員	近藤 和也様
	石川県議会議員	清水真一路様
	七尾市議会 議長	杉木 勉様
謝 辞	受賞者	山原 昌娃
乾 杯	七尾市教育長	黒崎 直人様

～ 飲 談 ～

スピーチ		武元 文平様
アトラクション	きものショー	
中 締 め	七尾商工会議所 会頭	大林 重治様
閉会挨拶	発起人	
	七尾市文化協会 会長	橋元 道彦



ありがとうございました!!

学院長 山原 昌娃



それは突然の知らせでした。そして翌々日には新聞発表。連日「お祝い」が届き、「おめでとう」が届きます。私は「困った」「困った」と気持ちがついていきません。

おめでとうの渦の中で、学院の皆様からの喜びも深く心に入り、日を追うごとに気持ちは少しずつ変化していきます。素直に「ありがとうございます」と言える自分が居て、それは感謝へと移行していきます。

まもなく迎えた受賞贈呈式。『七尾市文化賞』ありがたく謹んで拝受致しました。

迫っている祝賀会開催にむけ、学院の師範の先生方は素早く対応し、的確な判断で準備を進めて下さいます。最後まで細やかな心配りで支えていただきました。

コロナ禍の中でありながら、大勢のお客様参加と、祝賀会という大きな催しに、段々と押しつぶされそうになっていきます。その重圧感から逃れるべく思いついたアトラクションが「きものショー」です。おひとりお一人と打合せをし、会話をする事で、心が弾んでいきます。

十二月六日、朝から緊張しております

した。ご来賓の先生方からの身に余るお祝辞に、身を縮めておりました。有り難く拝聴致しましたが、そのお言葉一つ一つは、私へのお言葉ではありましたが、それは学院の皆様へのお言葉でもありました。一人では何も出来ません。皆様の力に支えられての受賞です。

宴席では、アクリル板越しに、茶谷市長様から「七尾の街中を、普段着のきものを着て歩いてもらいたい」と。乾杯のご発声を頂いた黒崎教育長様からも、うれしいお言葉をいただきました。他にもたくさんの方々から、あたたかいお言葉をかけていただき心が和んでいきます。

さあアイよいよ「きものショー」です。祝賀パーティでは異例の前代未聞のアトラクション。当日の打合せもありません。リハーサルもなしです。題名を付けるとすれば「本番のない公開リハーサル」でしょうか。

みなさん流石!! 舞台では晴ればれと笑顔振り撒いて下さいました。その笑顔で私も、ようやく本領発揮です。

ご多用の中、ご臨席賜りましたご来賓の方々。公私共にご支援いただいた方々。七尾市文化協会の皆様。お世話になりました。ありがとうございます。

今後学院の皆様と共に、伝統文化のきもの、きものチカラを伝え広めて参ります。ご指導とご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



祝賀会に寄せて

金沢きもの着付教室 中座 道子

令和二年十二月六日に学院長の山原昌娃先生が「七尾市文化産業賞」文化賞を受賞された祝賀会が開催されました。誠にお目出とうございます。

永年、着物きつけを始め、マナーを七尾を中心に県内外にも及び活動されて来られました。日頃、目立つた行動は本意ではなく、大和撫子(?)、心を持たれた方だと思われま。舞台上で沢山の方々の祝辞を受けられ、尚、恐縮されているお姿を拝見し乍ら、昭和、平成、令和とご一緒にしました生徒の一人として、思い出も尽きず、この文化賞は、とても喜ばしく、誇らしい気持ちです。これからもお体に気をつけられ、益々のご活躍を願っております。

繫ぐ

師範会 藪下 金子

七尾市文化賞、受賞おめでとうございます。

先生と出会って約半世紀、月日のたつのが早いですね。

着物のきつけに接する姿勢をいつも素敵に拝見していました。

いつもアイデアと工夫、前へと進む行動力の速さ、すべてが今日の日に繋がっていたのです。

着物のきつけの美しさ、着こなし所作、一体化された美しさだと思います。着物を通して教え伝えて下さっていたのです。

この祝賀会に、出席できた事、嬉しく思っています。

受賞、本当におめでとうございました。



アトラクション

ミニきものショー

練習はもとより、リハーサルもできず、電話連絡などで、内容・出方・動きなどが決まり、当日を迎えました。

山原学院長のリードのもと、訪問者43名、色留袖8名、黒留袖14名、振袖は7チームが舞台上着物姿を披露しました。

振袖は、帯を基本の蝶結びから、変わり結びへと変化させるという離れ技を三分程で行うというものでした。

コロナ感染予防の為、会話等が制限されている中、出席者から熱い眼差しが注がれました。

文化賞受賞記念祝賀会

師範会 山下 珠美

改めて、山原学院長の「七尾市文化賞」受賞おめでとうございます。昨年十二月六日加賀屋さんに於いて受賞記念祝賀会が開催されました。当初、このコロナ禍で大勢の人数で会食を行って大丈夫なのか？不安もありましたが、山原先生のお祝いだから参加したい!!と覚悟を決めて参加。さすが加賀屋さんです。何処よりも徹底したコロナ対策にここでも一流を感じました。

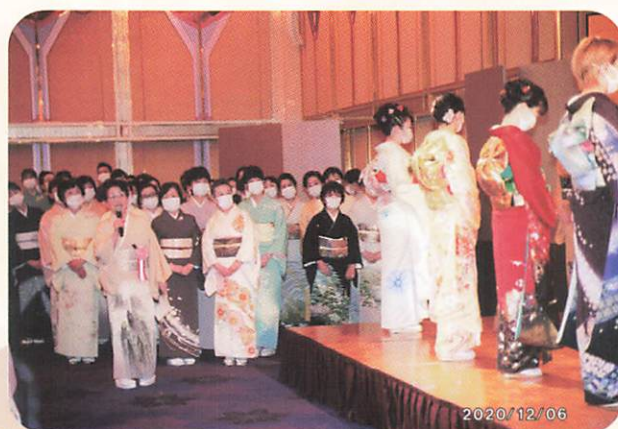
学院からの参加者による訪問着・留袖・振袖によるミニウオーキングショーも開催し、参加された皆さんに改めて着物の良さをアピール出来たと思います。山原先生の下で着付に携わっている事に感謝しています。



祝賀会

羽咋教室 丸吉ひとみ

長年にわたり着物の伝統や、文化の継承に尽力され続けておられる山原先生、この度は、七尾文化賞受賞おめでとうございます。コロナ感染の影響でお会いする機会が減少する中、この祝賀会で山原先生のお姿を拝見しました。多くの参加者と喜びを共有できた会であったかと思えます。山原先生の指導の下、身に付いた振袖、留袖、訪問着などと、いつもより豪華な着物で参加した私たち、この時期、外出を控え少なからず暗くなっていた思いを華やかにさせていたできました。コロナ対策万全に、無事行われた加賀屋さんでの祝賀会。先生をお祝いできたこと、参加できたことに感謝申し上げます。



着物文化普及たたる

七尾市文化賞 山原さん祝賀会

本年度の七尾市文化賞を受賞した「山原昌娃さん」の着付学院の山原昌娃さん(前方左)＝七尾市・和倉温泉の加賀屋さん(右)＝藤橋町、元七尾屋であり、関係者百二十人



きもの着付学院の師範から花束を受け祝福される山原昌娃さん(前方左)＝七尾市・和倉温泉の加賀屋で

来賓祝辞 着物の話題次々

着物姿の来賓もいたため、来賓祝辞は着物にまつわる話題の「応酬」に。和装で登場した茶谷義隆市長は「着物で街は明るくなる。今日久々に着物を着て、こういう場が増えることをしっかり考えていきたいと思った」と意欲を示した。

続く西田昭二衆院議員はスーツ姿で「前後の日程があり(着物は)かなわなかった」と述べた上で、国会で和装振興議員連盟に所属することに触れ「来年1月の通常国会の初登壇時は和装で臨みたい」。和装の近藤和也衆院議員は「昨日あいさつ内容を考えたが、行動で示そうと和装に。ただ借りた。本当は買ってこない」と笑いを誘い「私も和装連に入っているが、地元で着る機会がなく、今日は便乗した」と話した。

「最後に着たのはいつか考えたが、28歳の結婚式」と切り出した清水真一路県議は「祖父の紋付きはかまだった。私が着ると丈が合わなかった」とユーモアを交えた。最後に杉木勉市長は「市文化賞は毎年選ばれるものでない。全国の指導者の長も務められ、市として誇りうる人材」とたたえた。

が五十年にわたり着物文化の普及に貢献してきた山原さんの功績、ひたむきな取り組み姿勢をたたえた。山原さんは一九七〇年から着付けに関わり、七二年に指導開始。「きもの着付シヨ」や誰でも参加できる「きものつどい」を開催し、着物文化の発信に努めた。ボランティアでの指導機会も多く、着付け指導者育成も全国展開し、日本の伝統文化の普及発展への

功績が評価された。会では発起人代表の市文化協会顧問の小田禎彦・加賀屋相談役が「五十年地道な努力をされた先生の受賞は当然。旅館は日本文化の集大成で着物はその粋。今後もお力添えを」と祝福。来賓祝辞に続き、山原さんは「後ろを振り返る余裕もなく前を向いてやってきた。七尾の皆さんに育てていただき、学院生の支えがあった」と感謝を述べた。

学院生ら八十五人が山原さんの進行で着物ショーを披露。振り袖や黒留め袖、色留め袖など優雅な世界を演出した。フィナーレで全員が舞台上に集まり、師範から山原さんに花束が贈られた。黒崎直人教育長の発声で乾杯。武元文平市長、七尾商工会議所の大林重治会頭、市文化協会の橋元道彦会長があいさつした。(室木泰彦)



日本現代作法会 会長 寒川由美子様より

記念品

「きものをもっと着てほしい」という山原先生の思いから記念品も、着付けに便利な「コーリン結び」。田中ひとみ師範による正しい方の説明がありました。



北陸中日新聞2020年12月7日掲載



季節の帯結び

- ◆主催 七尾市文化協会
- ◆共催 七尾市教育委員会
- ◆主管 山原昌娃きもの着付学院



季節や行事に合わせて、着物の種類や帯結びに工夫をこらしました。
初詣から秋の結婚式まで、29種類の着物の装いを展示しました。

小林良子様よりごあいさつ



七尾市文化協会の役員の方々



第16回 七尾市民文化祭 第22回 きもの文化を楽しむ

山原昌娃きもの着付学院

◆日時 令和2年11月1日

◆場所 パトリア4階

フォーラム七尾



輝き 季節の帯結び

師範会 河原佐代子

山原先生よりお誘いをいただき、うれしく参加させていただきました。私は振袖、教室の生徒の中尾さんは浴衣で参加できた事がうれしく思いました。タイトル『里山里海きもの歳時記』お着物と帯との色合いがきれいで、帯の結びもとても上手で、みんな素敵でした。

会場の配置も振袖（変わり結び）春は薄系の着物（お太鼓結び）、夏浴衣（蝶結び・文庫結び）、秋は濃系着物、結婚式着物、心洗われる思いでした。

改めて着付、帯結びの創造のエネルギーを感じました。残念な事はコロナ禍で見に来てくださる方が少なかったように思いました。多くの方に見に来てほしかったです。



四季の移り変わり
着物、帯結びで表現
パトリアで山原昌娃学院
七尾市藤橋町、「山原昌娃きもの着付学院」の「第二十二回きもの文化を楽しむ」が一日、同市御祓町のパトリア四階フォーラム七尾で開かれた。四季の移り変わりに応じた折々の着物と帯結びを並べ、会場を歳時記のように飾った。



着物文化の魅力を発信する催しで、市民文化祭の一

着物に光を当てました

七尾講師会 五島 敬子

七尾市民文化祭「きもの季節の帯結び」に参加しました。

初詣の装いを小紋の着物に朱地に金の模様の名古屋帯で蝶結びをしました。仕上がりで亀甲模様と揚羽蝶が中心になるように結び方を工夫し、可愛らしく晴れやかになるように仕上げました。

娘時代、母に着せてもらった着物を箆笥から出す日が来るとは思いませんでした。「着物に光を当てる」とは、このことだと実感しました。

新春の帯結びを先頭に季節ごとの帯結びの華やかな会場。コロナ禍でお客様に帯結びの楽しさを広めることは出来ませんでした。自分達が研鑽を積むいい機会となりました。

四季に合わせた29種類の着物の魅力を発信した催し「七尾市御祓町のフォーラム七尾で

環として開催した。

一年の多くを占める暑くない春と秋、冬に着る二枚の生地を縫い合わせた裏地のある「袷」から始まり、六月と九月がふさわしい裏地がない「単衣」、七、八月の盛夏用として生地が薄い「絁」、カジュアルな「浴衣」などが並ぶ。

それぞれの着物に合わせた帯結びで、デザインや色合いも夏は涼しげ、秋冬は暖色系などを展示。結納用、男性用の羽織袴も紹介した。会場では「等伯賛歌」をBGMで流し長谷川等伯ゆかりの七尾を演出した。山原昌娃さんは「四季に合わせたきめ細かい着こなし方があり、一年を通じた着物の魅力を感じてもらえる機会になったのでは」と話した。（室木泰彦）

北陸中日新聞

2020年11月2日掲載

全国きもの指導者協会 資格授与式

令和三年七月十八日(日)
於 和倉温泉 あえの風



新準師範



新準師範



新指導員



新講師



新講師

コロナ禍での授賞式

師範会 春木 直樹

昨年に引き続き今年もコロナ禍での開催になりました。コロナの実態が全くわからなかった昨年とは違い、今年は少しは改善されると期待していましたが、その思いは通じませんでした。そんな中でも久しぶりにお会いする方々に嬉しくなりました。

しかし、マスクは着用、そしていつもだったら美味しい料理と共に近況報告に花が咲く賑やかな話し声が無い静かな食事会になりました。

今は、みんなが我慢の時。来年の授与式及び様々なイベントには不自由無く、みんなが参加出来ることを願いたいと思います。



北陸ウェブ株式会社

HOKURIKU WEB CO., Ltd

代表取締役社長

飴谷 嘉治蔵

本社 〒929-1121

石川県かほく市宇気ソ6-2

TEL (076) 283-5111 (代)

FAX (076) 283-5112

携帯 090-3297-9193

E-mail: kajizo.a@hokuriku-web.co.jp

URL: http://www.hokuriku-web.co.jp

大阪事務所

大阪府大阪市中央区南本町2-4-10丸忠第2ビル408号

TEL (06) 4963-2193

FAX (06) 4963-2194

内灘工場

石川県河北郡内灘町字室ハ24-5

高松工場

石川県かほく市高松丙1-31

Hair Salon

un jour

干場 真奈美 Manami Hoshiba

〒925-0447

石川県羽咋郡志賀町富来領家町イ-1

TEL: 0767-42-0221

『東京2020オリンピック 七尾で聖火をつなぐ』

資格授与の後、あえの風中女将、長谷川明子様の講演がありました。



私は聖火ランナーを募集していた当時、和倉温泉女将の会の会長をしていました。全国に和倉温泉をアピールするまたとない機会と思い応募しました。今回、石川県内の最終地点に和倉温泉が選ばれてとてもうれしいです。白血病の闘病生活を経て、オリンピックの

内定を決めた競泳の池江璃花子選手の「努力は必ず報われると思いました」というコメントに大変感動しました。選手にとってオリンピックは特別なものなので、その一場面に関わることができて本当に幸いです。希望の光である聖火の重みを感じながら一生懸命走りたいと思います。

長谷川 明子さん 加賀屋グループ あえの風 中女将



一年延期となった今年6月1日、和倉温泉湯つ足りパークにて行われた「トーチキス」。NHKで放送された録画ビデオをスクリーンで拝見した後に、女優・若村麻由美さんとの決めポーズなどの楽しいお話を伺いました。

資格授与式に参加して

師範会 岩城 圭子

昨年引き続き直前まで減った増えたとコロナ禍に振り回されての『資格授与式』となりました。

資格証を頂いた方々には次の扉に進む日ですが、私には「実技披露」を観る事が初心にかえる日でした。

あえの風女将 長谷川明子氏に聖火リレーの「トーチキス」の相手が女優の若村真由美さんだった事、二人の決めポーズをいくつも一生懸命考えてくれた事などを聞きながら画面を見る講演だったので私も会場にいる様な錯覚になり、決めポーズをする二人の笑顔が「実技披露」を終えた時の、皆さんの笑顔の様に思えてウルウルしました。



資格授与式の後、左記の会より報告とお願いがありました

●全国きもの指導者協会

今後の運営と年会費についての説明

●翔の会

令和2年度会計報告・3年度役員紹介

●連鎖校会

令和2年度会計報告・近況報告

●和装教育国民推進連合会

「石川県ななお支部」始動

和装教育国民推進連合会

『石川県ななお支部』始動

師範 山田 清美

令和2年10月、【日本国民に対して日本人の生活に根ざした服飾と伝統文化の伝承を学校教育の中で行うことにより、広く日本文化、和の服飾文化の振興と発展を図ること】を目的とする、和装教育国民推進連合会が設立され、自県は『石川県支部』『石川県ななお支部』の二本立てで活動する事となりました。今後はコロナ禍における指導方法の改善、ネットやオンラインの利用も視野に入れて活動していく予定です。本学院会員においては各自の所在地域での活動となりますが和装教育を盛り上げていくべくご協力いただきますようお願い申し上げます。

あなたの想いをカタチにします。

DESIGN COMMUNICATION, CORPORATION IDENTITY, ADVERTISING, WEB SITE, EDITORIAL DESIGN, PACKAGE DESIGN, PRINTING
SOLUTION!

第一印刷株式会社

info@daichiprint.co.jp

〒910-0801 石川県金沢市大町4-1-1 TEL 0767-63-3883 FAX 0767-63-3885

■本社営業所 石川県金沢市大町4-1-1 TEL 0767-63-3883 FAX 0767-63-3885

zoun
magazine



いなたく呉服店

羽咋市大町464-1 (0767)26-1122 www.inatoku.com

全国きもの指導者協会

令和3年度 協会だより

資格を取得されました皆様、おめでとうございます。

コロナ禍の中を、この一年頑張られた証、大きな節目です。今後の活躍をお祈り致します。

資格取得者一覧

準師範



新村 俊美
金沢市八日町

この度、準師範の資格を頂き誠にありがとうございます。ご指導くださった山原先生、諸先生方そして皆様のおかげと心より感謝いたします。これからも、より楽しくそして深く着物に係わっていけるように勉強していきたいと思ひます。今後ともよろしくお願いいたします。



谷崎 幸子
かほく市木津

この度は、準師範の資格を頂き、心より感謝申し上げます。

今までで、一番思い出深い事は、

第44回総会の基本着付けショーでした。山原先生、堀井先生、諸先生の期待に応えたく長丁場の練習に励みました。

これを糧に、まだまだ未熟ですが、身を引き締め精進してまいります。

講師



村井 恵美子
河北郡津幡町

この度、講師資格を頂きありがとうございます。自分で着物が着れたらと思ひ習ひ始めました。山原先生の御指導はもとより、浅井先生の御指導には深く感謝申し上げます。教室で出会えた仲間の存在が励みとなりました。



山本 百合子
鹿島郡中能登町

山原先生の事細かいご指導のおかげで講師資格を頂くことができ、と

てもうれしく思います。本当にありがとうございました。



浜崎 美登理
七尾市

着物を自分で着られるようになりたいと思ひ習ひ始めました。山原先生の優しくきめ細やかなご指導、共に稽古に励んできたお仲間のお陰で講師資格を頂くことができ大変感謝しております。これからも精進してまいります。



吉田 美津子
鹿島郡中能登町

この度は講師の資格を頂き、誠にありがとうございます。長年、着物を一人で着られるようになりたいと思ひていました。教室にお誘ひ頂いた事で夢が叶いました。これからも、精進してまいります。



大根 由起子
七尾市

着物が大好きで着付を習いたい長年の夢が叶い山原先生に御指導いただきこの度講師資格を頂戴し有難う

ございます。学院の皆様、同期の仲間達との出会いに心より感謝申し上げます。着物で出掛ける事が出来て嬉しい事です。



干場 真奈美
羽咋郡志賀町

この度は講師の資格を頂き、誠にありがとうございます。山原先生の優しく時に厳しくのご指導の下、着物を着る楽しさと同時に奥深さも学ばせて頂きました。今後もより一層精進していききたいと思ひます。



鉾田 斎歩
鹿島郡中能登町

子どものころから着物を着ることが好きで、自分で着れるようになりたいと思ひ習ひ始めました。先生方のご指導のもと講師資格を取ることができてうれしく思ひます。ありがとうございます。

指導員

吉岡 恵子
小田 由紀恵
多賀 好美

新連鎖校



わくら教室

師範 田中ひとみ

この度は、連鎖校の認定を頂きまして、ありがとうございます。永きにわたり、ご指導を賜りました学院長を始め諸先生方に深く感謝申し上げます。

昭和60年に学び、「きもの」に寄り添い生涯のご縁をいただきました。

学院長の教えに「着る喜び」「着せる喜び」そして「教える喜び」を感じてほしいと。

まだまだ未熟ではございますが「教える喜び」が感じられるよう日々精進してまいりたいと存じます。



南ヶ丘教室

師範 藤田 寿代

この度、学院長より連鎖校の認定を頂きありがとうございます。

三十六年の長きに渡り着付けに携われた事に、驚きと感謝と、まだまだ未熟な自身に、焦りも感じております。

着る、着付けるから、教える事への難しさと責任に、身が引き締まる思いです。自分一人を着付けが出来る喜びを、一人でも多くの女性に知って貰えるよう、そして僅かながらも伝統文化伝承の一端に加われるよう、精進してまいります。



山本美子きもの着付教室

師範 山本美子

夏は浴衣、お正月にはウールの着物に半幅帯の蝶結び。子供の頃祖母が着物を着付けてくれた事が

着物への興味を持ったきっかけです。その後、着付けを習い始め、自分で着る・着せる楽しさを味わい、今後は教える事にもチャレンジしたいと考え、連鎖校の認定を頂く決意をしました。

これも学院長始め諸先生方のお陰と感謝しています。今後も更なるご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



山田きもの着付教室

師範 山田 清美

この度、連鎖校の認定を頂きありがとうございます。

いつも自分のことで手いっぱい私です。気が利かない、気を付けない、自信がない。でも、資格を受けたからには力をつけなきゃという真面目なところもあります。今度は連鎖校。いつも受けてからの精進です。立ち止まっている時、山原先生が背中を押してください。諸先生方、同志が支えてくださいます。こんな私です。皆様、今後とも、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ致します。

全国きもの指導者協会について

学院長 山原 昌娃

『協会だより』第56号でご案内させて頂いておりましたが、全国きもの指導者協会の本部事務運営が、令和2年12月から、各認証校へと引き継がれております。

協会の理事会も、昨年8月のリモート会議以来開催されております。

コロナが収束して、認証校の先生方と一緒に会し、理事会を開くまでは、会の会長としての任務が残されており、まだ大役を背負っております。

全国の皆様との絆を大切にし、今後も全国の認証校と親睦を深め、交流を続けたいと考えております。

令和3年度の協会費につきましては、各会の役員の先生方・連鎖校の先生方に、ご協力いただきましたこと、お礼を申し上げます。

又、協会の事務的な仕事については師範の藤田寿代先生に大変お世話になっております。これからも会計としてお願いしたいと思っております。皆様のご承認を頂きたくよろしくお願ひ致します。

学院だより

十二月十四日

帯結び研究会

金沢講師会 新村 俊美

2020年11月14日森山公民館にて開催されました。金沢講師会8名がそれぞれテーマを決め、ボディに着物を着せて袋帯、名古屋帯を結びました。各自出来る帯結び、やってみてみたい帯結びを展示させていただきました。午前に着付けをし、午後からの研究会でした。山原先生から一体一体にご指導頂き、先生の一触りによりテーマに近付き毎回ですが、とても勉強になった会になりました。



山原昌佳さん（手前中央）の帯結びの講習を聞く会員たち＝金沢市森山公民館で

山原着付学院講師会
人形使い帯結び研究
森山公民館
金沢中日文化センター講師の山原昌佳さんが主宰する「山原昌佳きもの着付学院」の講師クラスの会「金沢講師会」の帯結び研究会が十四日、金沢市森山の森山公民館であった。和服文化を学んでいる同会の会員十人が、色とりどりの小紋や訪問着を着せた人形八体を使い、太鼓結びや銀座結びなど多彩な帯結びを発表した。山原さんが、作品「一点一点を人形に」を講評した。同会の新村俊美会長は「帯結びを通して、着物の奥深い魅力を学べる」と話していた。（石田慎一）

北陸中日新聞 2020年11月15日掲載

成人式ボランティア

一月十日

七尾市



コロナ禍の中、例年より短縮されましたが、新成人の皆様の笑顔も式典も素晴らしいです。今年も、きものお直しや記念撮影のお手伝いをさせて頂きました。

中能登町

コロナ禍の中、開催された成人式今年初めてベトナム出身の技能実習生が参加されました。日本の文化も勉強できなさいと両親の勧めもあり、地域のボランティアらの協力で振袖での参加となり、私達も着付けのお手伝いをさせていただきました。



私達も着付けのお手伝いをさせていただきました。

OEK七尾定期公演

一月十七日

山原学院長のお誘いで鑑賞に。天候の悪い中15人が参加。

『オール・モーツァルト・プログラム』若きマエストロ太田弦の指揮でヴァイオリンは郷古廉。330年前に製作された「アントニオ・ストラディヴァリ」の素晴らしい音色に魅了されました。



「アントニオ・ストラディヴァリ」の素晴らしい音色に魅了されました。

着付け講座 課外実習

金沢 中日文化センター

金沢中日文化センター（金沢市武蔵町のめいづ・エムザ二階）の「きもの着付け講座」の課外実習が七日、同市内であり、受講者十五人があでやかな和服姿で市街地を散策しながら歩き方や所作を学んだ。同講座の講師、山原昌佳さん

着物姿 街歩き



着付け講座の課外実習で国立工芸館を訪れた受講者たち＝金沢市出羽町で

が「歩幅は普段の半分くらいにする気持ちで歩くこと」「階段の上り下りは、裾を少しつまんで、裾を踏まないように、はたけないように注意する」などを指導した。

受講者たちは、美しい立ち姿に心掛けたら尾山神社から鼠多門・鼠多門橋を散策した後、国立工芸館を訪れた。母親の着物に着たくて習い始めた同市三口新町の桜井美代子さんは「お気に入りの着物が散策ができてとても楽しい」と話していた。（石田慎一）

能登上布と加賀友禅

三月二十六・二十七日

中能登 古民家みおやの里

中能登スローツリーズ協議会の事務局長亀井孝男様よりのご案内で参加しました。

能登上布だけでなく、加賀友禅作家の中町博志先生・由水煌人先生のお話も近々とお聞き致しました。



また両先生、中町豪太先生の作品も拝見させていただきました。

北陸中日新聞 2020年11月8日掲載

令和3年度 山原昌娃きもの着付学院 各会・認定校・連鎖校役員一覧

会 名	令和3年度役員	教室名	先 生	令和3年度役員
師範会	石川 勝子 岩城 圭子	氷見教室	田中(孝美)先生	南 照子 谷口 京子
七尾準師範会	守友 伸子 黒崎真奈美	金沢教室	中座先生	前田由起子
金沢準師範会	長澤 雅美 竹内 雅美	松井教室	松井先生	大橋 陽子
七尾講師会	五島 敬子 山形 清美	田鶴浜教室	藤沢先生	小垣裕美子 高瀬 仁美
金沢講師会	大澤 和佳 櫻井美代子	高松教室	堀井先生	遠田由美子 松本 文子
		羽咋教室	田中(カフミ)先生	丸吉ひとみ 保志場由紀子
		河原教室	河原先生	中尾 聡恵
		みやもと教室	宮本先生	八十田和代
		ふみ娃教室	竹ヶ端先生	平澤 純子 袋井 弘美
		まさこ教室	石川先生	松井 俊子

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs

「誰一人取り残さない」という考え方のもと、人種や性別、地域などを超えて地球上のみんながそろって幸せになることを目指す国連の目標です。「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略

- 1, 貧困をなくそう
- 2, 飢餓をゼロに
- 3, すべての人に健康と福祉を

など、17の目標があります。

幸せな未来へ出来ることからを合言葉に、私に何が出来なのか、私達は何をすべきか。身近なことから取り組んで行きましょう。

令和3年7月

豪雨災害お見舞い(熱海土砂災害)

資格授与式で寄せられた募金に各会からのお見舞金等が加えられ10万円となりました。7月27日、日本赤十字社石川支部へ届けました。ご協力ありがとうございました。



行事予定

- ◆ 十月十六日 金沢講師会発表会
- ◆ 十月三十一日 森山公民館
- ◆ 七尾市市民文化祭参加
- ◆ フォーラム七尾四階ホール
- ◆ 十一月十四日 「きもの日」
- ◆ フォーラム七尾・各連鎖校にて
- ◆ 十一月二十八日 連鎖校会・勉強会
- ◆ フォーラム七尾
- ◆ 十二月十一日 金沢準師範会発表会
- ◆ 一月九日 成人式
- ◆ 二月二十七日 「きもの集い」
- ◆ 和倉温泉・あえの風

広告を協賛して頂きました各社に厚く御礼を申し上げます。

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大の中、一年遅れのオリンピック・パラリンピックが開催された。各選手の実力と成果を讃えつつも、この先のコロナ感染が心配である。

行事を実施するか中止するか判断は、非常に難しいと思う。学院でも判断に悩まされる場が多々あった事だろう。また実施しても二週間、胃が痛む。

コロナが早く収束し、いろいろな事を安心して楽しく実施できる日が来ることを願っています。

編集委員.....

山原 昌娃 細田 節子
守友 伸子 神前 淳子
大谷 礼子

(細田)

発行 第三十七号 令和三年九月一日発行
全国きもの指導者協会認定校

〒926-0816 七尾市藤橋町寅一六二一
TEL (0767) 521-1625
FAX (0767) 521-7556

ホームページ <https://yamahara2.web.fc2.com>

編集 翔 編集委員会
責任者 山原 昌娃

印刷 第一印刷株式会社

〒926-0803 七尾市古府町へ部三十四番地一
TEL (0767) 531-3800



和日遊日

はるなお



はるなお文化教室

きもの着付・茶道【表千家・裏千家】・三味線・書道
木目込み・組紐・水引・和裁・テーブル茶道・
きものdeおでかけ など 一緒に『和』を楽しみましょう

〒926-0048

七尾市桧物町2番地

Tel:0767-53-0423 Fax:0767-52-9033

和日遊日はるなお

検索

LINE ID検索: @harunao



心地よい風に吹かれながら、
大切な人と過ごす時間。

「ゆつくりと過ごしたいね」

久しぶりに友達と

じっくり話せるうれしい時間

「たまには、のんびりとしようか」

母と過ごすゆったりした時間

忙しい日常を忘れて

心からくつろいだり、

普段は話さない事も話したり...

穏やかな波の調べに

乗せて風を感じながら、

思い思いにおくつろぎください。

能登半島国定公園・和倉温泉
国際観光ホテル整備法 登録旅館(登録第1675号)



あえの風予約センター

TEL(0767)62-2111 FAX(0767)62-1123

〒926-0192 石川県七尾市和倉温泉

あえの風 | 検索 | f

きもので非日常へ

帯・小物の色合わせの
「妙」で着物ではなく着
る人を「主役」にする。

和福工房 はる喜

七尾市阿良町2 ☎ 0767-52-3162



とことん向き合い、ずっと寄り添う家づくり。

City House

シティハウス産業株式会社

〒926-0818 石川県七尾市馬出町八部51-3

TEL 0767-53-2133 FAX 0767-53-7910

E-mail info@cityhouse.co.jp

http://www.cityhouse.jp